

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 4 号

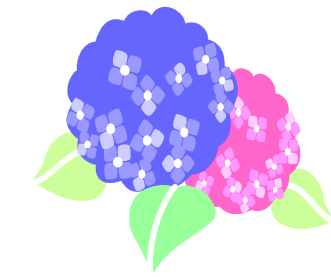
はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年7月3日(月)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

最上級生としての自信と誇り

校長 中島 俊尚



さいたま市学校総合体育大会が終わりました。各運動部とも健闘し、陸上部の男女総合優勝、女子テニス部の団体戦準優勝、女子バスケットボール部の3位、女子柔道部の団体戦3位をはじめ、男子バスケットボール部、サッカー部など多くの部活動や個人が県大会出場を決めました。残念ながら県大会出場は逃したものの、素晴らしい試合を展開した運動部も数多くありました。例えば男子卓球部の団体戦決勝トーナメント1回戦対内谷中戦は手に汗握る好ゲームとなりました。シングルス4名とダブルス1組で戦う試合、最後のシングルスまで2勝2敗、その最後の試合も2セットずつを取り合うという素晴らしい試合になりました。

ソフトボール部はレギュラーの3年生のキャッチャーがけがで欠場、そこをみんなでカバーしながら固いチームワークで3試合も戦い抜きました。特に3試合目の城北中戦は見応えのある投手戦でした。負傷したキャッチャーも声をからして応援していました。

一方野球部もみごとな戦いぶりでした。1回戦、2回戦と順調に勝ち進み、いよいよ3回戦はリード校、今大会の優勝チーム大谷口中でした。2点先行されましたが、すぐに追いつき、また1点先行されると最終回にまた追いつきと大接戦となりました。

部活動のよさとは目標に向かって仲間と力を合わせて努力し、勝って笑い、負けて泣く、この経験そのものにあると考えます。今大会で引退する3年生は、3年間で成長したこと、例えば、できなかったことができるようになったこと、がまんでできなかったことががまんでできるようになったことなど、様々な心の成長や体の成長、そのひとつひとつをしっかりと感じ取ってください。そして「部活を最後までやり遂げた」という自信と誇りをもって次のステージに向かってください。6月28日からは待ちに待った京都・奈良修学旅行です。最高の仲間と、最高の思い出をたくさんつくってほしいと願っています。

さて、6月19日は大原中学校の第64回目の開校記念日でした。この日に先立って6月12日の全校朝礼で「開校記念日までの1週間、どんなことでもいい、大原中学校にバースデー・プレゼントを贈るつもりで生活しよう」と提案しました。早速この日、校長室掃除の3年生がいつもより念入りに部屋の隅々まで掃除をしてくれました。剣道部もお世話になっている道場をきれいに磨いたそうです。さらに数日後1年6組の代表生徒がクラスで作成した「バースデーポスター」を校長室前の掲示板に展示してくれました。打てば響く大原中の生徒にまたひとつ感動しました。



6月は「いじめ撲滅強化月間」でした。この時期に合わせ、今年も生徒会がキャンペーンを張り、いじめ撲滅を訴えた標語を募集しました。また、さわやか相談員やスクールカウンセラーと学級担任がティーム・ティーチングを行いながら、「いのちの支え合い」を学ぶ授業も進められました。1年生は学級担任とさわやか相談員で指導する『ストレスを上手に発散しよう』に取り組みました。2年生は学級担任とスクールカウンセラーで指導する『心だって風邪をひく』に取り組みました。さらに各学年とも心と生活のアンケート結果に基づく面談も実施しました。季節は春から夏へ、猛暑の中、緑化委員会の生徒が花の植え替え作業をしてくれました。「潤いのある環境」づくり、ありがとうございます。